

2025 年 10 月 17 日
株式会社日立ソリューションズ

人的資本経営や AI 活用の取り組みを掲載した「サステナビリティ・アクションブック 2025」を公開

日立ソリューションズグループのグローバルでの情報開示を継続、マテリアリティに沿ったサステナビリティサイトに構成を変更



株式会社日立ソリューションズ（本社：東京都品川区、取締役社長：森田 英嗣／以下、日立ソリューションズ）は、10 月 6 日、ステークホルダーの皆さまを対象としたコミュニケーションツールとして、主に 2024 年度の活動をまとめた「サステナビリティ・アクションブック 2025」を公開しました。

前年の「サステナビリティ・アクションブック 2024」は、一般社団法人 日本 BtoB 広告協会が主催する第 46 回「日本 BtoB 広告賞」において、企業活動レポートとして評価され、サステナビリティ賞を 2 年連続で受賞しました。

今回で 3 年目となる「サステナビリティ・アクションブック 2025」では、人的資本経営や AI 活用の取り組みを新たに掲載しました。また、前年に引き続き、マテリアリティを軸にさまざまな活動をマッピングし、日立ソリューションズグループのグローバルでの情報開示も継続しています。そして、マテリアリティへの取り組みの充実により、これまで環境、社会、経営ガバナンスの ESG の観点で構成していたサステナビリティサイトを、このたびマテリアリティに沿った構成へと変更しました。

日立ソリューションズは、2024 年度より「DX by AX toward SX」をスローガンとして掲げ、持続可能な企業経営や社会の実現に向けて、AI の活用を通じた DX を加速させています。今後もお客さまやパートナー、地域社会などさまざまなステークホルダーの皆さまと新たな価値を協創し、より幸せな社会の実現に貢献していきます。

「サステナビリティ・アクションブック 2025」制作の背景

昨今、気候変動や環境問題、人口問題、紛争など、世界がさまざまな課題に直面する中、企業は長期的に価値と利益を創出し続けるべく、サステナビリティ経営への変革を進めています。

日立ソリューションズは、持続可能な社会の実現に向けて、環境価値・社会価値・経済価値のトレードオンでの向上をめざす全社活動「SX プロジェクト」を 2022 年度に立ち上げ、2024 中期経営計画を推進しました。コーポレートフィロソフィーの刷新やマテリアリティの特定をはじめとした SX 活動を中心に、毎年「サステナビリティ・アクションブック」としてまとめ、サステナビリティサイトや会社紹介資料の充実を図り、サステナビリティに関する情報開示を積極的に推進してきました。

「サステナビリティ・アクションブック 2025」の特長

1. 人的資本経営ページを新たに設け、CHRO メッセージや具体的な実践内容を紹介
2. 最新技術やダイバーシティ、ガバナンスなど各マテリアリティのページで AI の取り組みを複数紹介
3. SX プロジェクトでの取り組みをさらに発展させた、サステナビリティ経営を実践する新たな推進体制を紹介

「サステナビリティ・アクションブック 2025」について

URL : https://www.hitachi-solutions.co.jp/company/sustainability/asset/pdf/SustainabilityActionBook_2025.pdf

日立ソリューションズのサステナビリティ

URL : <https://www.hitachi-solutions.co.jp/company/sustainability/>

日立ソリューションズについて

日立ソリューションズは、お客さまとの協創をベースに、最先端のデジタル技術を用いたさまざまなソリューションを提供することで、デジタルトランスフォーメーションを実現します。欧米、東南アジア、インドの各拠点が連携し、社会や企業が抱える課題に対して、グローバルに対応します。

そして、人々が安全にかつ安心して快適に暮らすことができ、持続的に成長可能な社会の実現に貢献していきます。

詳しくは、日立ソリューションズのウェブサイト(<https://www.hitachi-solutions.co.jp/>)をご覧ください。

※ 記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

このお知らせに記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL など)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
